

二〇二〇年度二松学舎大学人文学会役員・委員（五十音順）

会長 牧角悦子

運営委員長 長島弘明

運営委員 市來津由彦・小方伴子

中谷いずみ・増田裕美子

町 泉寿郎・松本健太郎

研究委員長

町 泉寿郎

足立 元・塩沢 一平

田中正樹・増田裕美子

編集委員長

松本健太郎

編集委員

市來津由彦

小方伴子・改田明子

高橋佑太・戸内俊介

中谷いずみ

会計委員

原由來恵・山口直孝

監事

沖森卓也・塩田今日子

《編集後記》

『人文論叢』第百六輯をお届けする。今号は、巻頭から論考が五件並び、重厚な構成となった。奈良と江戸時代の日本古典、近代の日仏文化交流、国語学史、中国清朝考証学に関するものと、多岐にわたる。また、「私の研究」や本学部教員の著作・編著の「紹介」も含め、変わらず多様な内容を掲載できた。恒例の博士論文・修士論文・卒業研究題目一覧は、卒業研究締切が臨時に一月になったため掲載が日程的に難くなったが、修了生卒業生の皆様に贈ることができた。以上、執筆者、各協力者の皆様には厚く感謝申し上げます。

COVID-19（新型コロナウイルス）感染症流行により人文学の研究・教育のあり方が問われている。図書館や資料館の使用制限のため調査を柱とする論考が執筆しにくくなり、また授業や学会発表が多くオンライン化した。講演やインタビュー等、現場性に支えられる企画はどうするか。こうした時にこそ知恵が求められる。閉塞感に陥るなく、研究・教育の新天地が拓かれることを信じて。

この二年、特にオンライン中心で行わざるを得なかった今年度の編集作業において、担当助手の小島朋子氏には特段のご協力をいただいた。謝意を表したい。

（編集委員長 市來津由彦）